(7)　キウイフルーツ　〔果樹類＞落葉果樹＞キウイフルーツ〕

① 防除のポイント・注意事項

病害虫名	防除時期	摘　要
花腐細菌病	休眠期 生育期（4月中旬～下旬）	・樹皮や休眠芽で越冬した細菌が雨滴で蕾に飛散し、がくの裂開とともに花蕾の中へ侵入し、花では不受精や奇形果・落果を生じる。 ・開花期に、雨が多いと発生が増加する。
	［耕種的防除］	・強風が吹き抜ける場所での栽培を避け、防風対策を行う。 ・せん定枝は、園外に持ち出して処分する。 ・通風・採光・排水を改善し、多肥を避けて、落ち着いた樹勢で管理する。 ・開花の1か月前(3月下旬～4月中旬頃)に、主幹部を5㎜幅で、環状はく皮する。
かいよう病	【共通】	・品種によって2倍体・4倍体・6倍体に分かれるが、2倍体品種(「紅妃」等)は抵抗性が低く、6倍体品種(「ヘイワード」等)は抵抗性が高い傾向にあるので、品種選定で抵抗性(り病性)に注意する。 ・病原菌にはpsa1～5の系統があり、中でもpsa3で病徴や感染力が著しい。
	生育期（4月中旬～下旬）	・罹病した枝幹部から2～4月に暗赤色の細菌液が漏出し、雨滴で飛散する。 ・気孔や傷口から菌が侵入し、葉での発病は4～6月に最盛期となる。 ・春や秋の強風雨で、広範囲に伝染する。冬季の低温で、発生が助長される。
	落葉期～休眠期	・せん定による切り口は菌が侵入しやすいので、トップジンMペーストを塗布しておく。
	［耕種的防除］	・強風が吹き抜ける場所での栽培を避け、防風対策を行う。 ・発病枝のせん定に用いた鋏、鋸は消毒して次の健全樹に用いる。
灰色かび病	開花期～落花期	・梅雨期の多雨や過繁茂状態で、発生しやすい。 ・傷果や濡れ果は、収穫しない。
果実軟腐病	着果期 6～7月および9～10月	・貯蔵中に発病した果実は、すみやかに除去する。
	［耕種的防除］	・冬季のせん定および夏季の徒長枝除去により、通風、採光を良好に保つ。
切り口および傷口のゆ合促進	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	・切り口に、適量のトップジンMペーストを塗布する。
カイガラムシ類 カイガラムシ類幼虫	5月中旬 7月上旬 9月上旬	・休眠期防除参照 ・休眠期は石灰硫黄合剤またはマシン油乳剤を散布する。
カメムシ類	果実肥大期	・カメムシ類は夜間活動性なので、日暮れ前の防除が効果的である。
キイロマイコガ	果実肥大期 成熟期	・果実接合部やへた部等に糸を張った巣の有無で、発生状況を確認する。
	［耕種的防除］	・果実が重ならないよう、適正摘果に努める。

キウイフルーツ【殺菌剤】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）				
									かいよう病	果実軟腐病	花腐細菌病	灰色かび病	切り口及び傷口のゆ合促進
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ICﾎﾞﾙﾄﾞｰ66D	銅水和剤	M1		収穫後～発芽前	-	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	25～50倍				
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｱｸﾞﾘﾏｲｼﾝ-100	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ・ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ水和剤	25,41		落花期まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	1000倍		1000倍		
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｱｸﾞﾚﾌﾟﾄ水和剤	ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ水和剤	25		収穫90日前まで	4回以内		散布	1000倍		1000倍		
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｶｽﾐﾝﾎﾞﾙﾄﾞｰ	ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ・銅水和剤	24,M1		休眠期	4回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	500倍		500倍		
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｶｽﾐﾝ液剤	ｶｽｶﾞﾏｲｼﾝ液剤	24		収穫90日前まで	4回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	400倍		400倍		
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｽﾄﾛﾋﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ水和剤	11		収穫前日まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				2000～3000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾀﾞｺﾆｰﾙ1000	TPN水和剤	M5		収穫60日前まで	7回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		500～1000倍			
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝMﾍﾟｰｽﾄ	ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙﾍﾟｰｽﾄ剤	1		【A】	3回以内		塗布					原液
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾄｯﾌﾟｼﾞﾝM水和剤	ﾁｵﾌｧﾈｰﾄﾒﾁﾙ水和剤	1		収穫前日まで	5回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		1000倍			
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾅﾘｱWDG	ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ・ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ水和剤	11,7		収穫前日まで	2回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		2000倍		2000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾌﾛﾝｻｲﾄﾞSC	ﾌﾙｱｼﾞﾅﾑ水和剤	29		収穫30日前まで	1回	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		2000倍		2000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾍﾞﾙｸｰﾄ水和剤	ｲﾐﾉｸﾀｼﾞﾝｱﾙﾍﾞｼﾙ酸塩水和剤	M7		収穫前日まで	5回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		1000倍		1000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾍﾞﾝﾚｰﾄ水和剤	ﾍﾞﾉﾐﾙ水和剤	1		収穫7日前まで	5回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		2000倍			
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾑｯｼｭﾎﾞﾙﾄﾞｰDF	銅水和剤	M1		-	-	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	1000倍				
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾛﾌﾞﾗｰﾙ水和剤	ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ水和剤	2		開花期～落花期	4回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				1000～1500倍	
					収穫前日まで	4回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a			1000～1500倍			

使用時期：【A】剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後

キウイフルーツ【殺虫剤】

RPA

作物名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用時期	使用回数	使用量	使用方法	適用病害虫名/使用濃度（希釈倍率）			
									ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類	ｶｲｶﾞﾗﾑｼ類幼虫	ｶﾒﾑｼ類	ｷｲﾛﾏｲｺｶﾞ
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｱﾃﾞｨｵﾝ乳剤	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ乳剤	3A		収穫7日前まで	5回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布			2000倍	2000～3000倍
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｱﾌﾟﾛｰﾄﾞ水和剤	ﾌﾞﾌﾟﾛﾌｪｼﾞﾝ水和剤	16		収穫前日まで	2回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布		1000倍		
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｱﾙﾊﾞﾘﾝ顆粒水溶剤	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布			1000～2000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｽｶｳﾄﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾄﾗﾛﾒﾄﾘﾝ水和剤	3A	劇	収穫前日まで	5回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				1500～2000倍
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ｽﾀｰｸﾙ顆粒水溶剤	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布			1000～2000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾀﾞﾝﾄﾂ水溶剤	ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水溶剤	4A		収穫前日まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布			2000～4000倍	
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾊﾟﾀﾞﾝSG水溶剤	ｶﾙﾀｯﾌﾟ水溶剤	14	劇	収穫30日前まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				1500倍
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾌｪﾆｯｸｽﾌﾛｱﾌﾞﾙ	ﾌﾙﾍﾞﾝｼﾞｱﾐﾄﾞ水和剤	28		収穫7日前まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				4000倍
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾏﾌﾞﾘｯｸ水和剤20	ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ水和剤	3A	劇	収穫7日前まで	2回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布				2000倍
ｷｳｲﾌﾙｰﾂ	ﾓｽﾋﾟﾗﾝ顆粒水溶剤	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ水溶剤	4A	劇	収穫7日前まで	3回以内	200～700ﾘｯﾄﾙ/10a	散布	2000倍			